

学校教育目標	学びを楽しみ、共に高め合うかしわっ子 ～ (か) (し) (こ) (く) (わ) (く) (わ) (く) (な) (が) (る) (こ) (ろ) ～
目指す学校像	○学びを創造し、一人ひとりが輝く学校 ○安全・安心で、心地よい教育環境の学校 ○家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校

重点目標	1 学びを楽しみ、共に高め合うかしわっ子の育成 (新たな発見、基礎学力向上、体力向上) 2 組織的な指導、支援、特別支援教育、教育相談体制の充実 3 コミュニティ・スクールの充実、地域一体となつてともに歩むための連携・協働 4 安全・安心な環境整備の徹底、事故の未然防止と早期対応 5 心身の健康第一、専門・得意分野を生かした学び合い、高め合い、チャレンジによる資質向上
------	---

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価		
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ・学びのポイントを意識した授業、新たな学習スタイルの授業デザイン等に取り組み、ICT活用も積極的に実施している。 ・外部講師などを積極的に学習の中に取り入れ、多様な学びにつながる実践ができています。 <課題> ・基礎学力を向上させるため、習熟を図る取組を計画的、継続的に位置付けていく必要がある。 ・子どもたち一人ひとりが主体的に学ぶ意欲を高めるための場や機会が必要である。 ・体力低下解消に向け、暑さや寒さを考慮し、時期と内容考えた体力向上の生活化を図る。	・ICT活用と基礎学力向上の授業実践	①ICTの効果的な活用と、基礎学力向上のための「読み、書き、計算」の習熟を図る取組を、朝の時間や年間計画に位置付けていく。(ICT有効活用、個別最適、協働的な学びの充実) ②学ぶ楽しさの実感、協働する楽しさが味わえる、様々な人との多様なかわり合いの経験を増やす。(地域や企業等の人材の積極的活用、多様な学び)	①ICTを有効活用し、計画的に継続して個別最適、協働的な学びで基礎学力向上「読み、書き、計算」を意識した授業実践ができたか。 ②地域や企業等の人材を積極的に学習活動に活用することができたか。 ・カリマネデザインマップの活用、教科横断的な視点をもった授業デザインと学びのポイント「J・し・ゃ・ク」等			
		・授業づくり、体育科教育の充実と体力向上の実践	①研修等を計画的に実施し、運動の楽しさや心地よさを味わわせるための授業づくりの情報提供、授業公開等 ②体力アップキャンペーン定期的実施。	①授業づくり、授業公開、研修等を行い、体力向上の実践ができたか。 ②体力アップキャンペーンを定期的実施できたか。(学期1回以上)			
2	<現状> ・学校評価アンケート「学校が楽しい」の関連項目で肯定的な回答90%以上である。 ・情報共有、共通理解が図れ、組織的対応が様々な場面で機能し、早期対応につながっている。 <課題> ・困った時に相談できないと回答する割合が一定数見られる。子どもの安心した生活の保障。 ・スクールダッシュボード入力に関する正確さや時間の確保、即効性のある対応などを考慮し、相談しやすい環境づくりが必要である。	・個に応じたきめ細やかな支援の組織体制の充実	①報告、連絡、相談、見届けの徹底、情報共有、共通理解、共通行動を組織的に行う。必要に応じ専門職につなぐ。 ②迅速、誠実、アフターケアで丁寧な対応に努め、フォロー体制を整える。	①報・連・相・見届けが徹底され、早期発見、迅速な対応が組織的に行っているか。 ②「学校が楽しい」項目において、肯定的な回答が90%以上になったか。			
		・日常観察、アンケート、スクールダッシュボード等のデータ活用	①教職員全体で見えていく体制づくりに努める。毎月の生徒指導委員会の実施。 ②スクールダッシュボード等を有効活用し、現状把握、課題等の早期発見、早期対応につなげる。健康教育(健康管理能力向上)も充実させていく。	①定期的な委員会の実施、教職員全体で情報共有、共通理解、共通行動ができたか。 ②スクールダッシュボード等を有効活用し、現状把握、早期発見、早期対応につなげることができたか。			
3	<現状> ・学校運営協議会の年3回実施、「学校、地域に愛着をもつ子どもを育てる」をテーマとして熟議が進められている。「かしわっ子フェスティバル」の開催は大盛況、保護者、地域、学生ボランティア等、幅広い協力体制ができてきた。その他の地域連携事業も増えてきている。 <課題> ・学校と地域のつながり、組織力をさらに強め、持続可能なものにしていく必要がある。	・愛校心、地域への愛着が高まる事業取組の実施	①コミュニティ・スクール、SSN、PTA活動等と学校運営協議会の充実により、連携・協働した参画型のイベント等、地域関連事業を実施する。 ②学校行事等に保護者や地域の方々が積極的に参加、参画できるようにする。(運動会、かしわっ子発表会、定期的な授業参観、発表会、校外活動他)	①学校運営協議会やSSN、PTA活動、地域行事等を通して、連携、協働し、地域関連の連携事業が3種以上実施できたか。 ②学校行事等について工夫改善が図られ、学校だより等や学校Webページの活用によって子どもたちの活動の様子等が、定期的に、時期相応に情報発信できたか。			
		・施設設備の確実な点検と、安全、安心につながる教育環境の整備	①施設・設備の点検、日常の保健衛生、給食等における安全管理を徹底し、事故未然防止に努め、危機管理体制を整え、組織的に進めていく。 ②予算の有効活用、計画的、適切に執行し、安全な学習環境を充実させる。	①細やかな定期点検、日々の安全点検等を確実に実施し、早期対応、未然防止につなげることができたか。 ②学校評価「学校は安全についての指導をよく行っている」項目で肯定的な評価90%以上となったか。			
4	<現状> ・樹木伐採、剪定等を進め、危険箇所の早期修繕もできてきた。緊急時や安全点検後報告に、迅速に対応してきている。 ・施錠等の改善等で防犯対策が進み、また、熱中症対策として、水分補給や活動の制限等を周知徹底して安全に過ごしている。 <課題> ・想定外、前例のない事故等の心配もあり得ることを常に意識し、対応していく必要がある。	・防犯対策、熱中症対策に関する施設、設備の充実	①門の開閉を適切に行い、来校者にはあいさつ等、声をかける習慣をつける。 ②熱中症対策を常に意識し、周知し、新たに昇降口にはミストを設置する。	①適切な門の開閉、各場所の施錠等、あいさつや声掛けなど、来校者への対応が適正に行われているか。 ②熱中症対策の充実が図れたか。			
		・資質向上に結び付く研修と実践力向上	①一人2回以上の授業公開や実践報告の実施、他教員の授業参観3回以上実施し、高め合う交流機会を増やす。新たな効果的ICT活用の実践等の共有。 ②キャリア段階に応じた研修、資質向上のため積極的な研修参加の促進。	①情報交換を行いながら学校全体に共有できたか。効果的なICT活用の授業実践ができたか。 ②研修に積極的に取り組み、学校全体に情報発信できたか。			
5	<現状> ・個人設定した研修テーマをもとに情報交換、共有を図り、効果的なICT活用を含めた授業実践が進められている。各種研修会や研究発表会に積極的に参加し、自己の資質向上につなげている。 ・分担し、調整を図り、業務が偏らないよう学校全体でフォローしていく体制づくりができています。精選や効率化を進め、自身の改善や他の取組などを参考にし、自己調整を図っている。 <課題> ・少人数分担となるため、多少偏りが発生してしまう。フォローし合える体制、心身健康で、やりがいのある環境を整えていく。	・心身健康で、Well-beingにつながる協働的な働き方改革	①会議や業務を精選し、業務が偏らないように学校全体でフォローし合いながら業務改善に取り組み、各自が自由に使える時間を確保できるようにする。 ②心身の健康を保つため、年間時間外在校等時間月平均30時間程度となるようにする。	①業務改善が進み、学校全体でフォロー体制が効果的に機能し、個人の時間確保につなげることができているか。 ②繁忙期の調整や、年間を見通しての日々の業務遂行が計画的に行われ、目標値を意識して取り組むことができたか。(休暇等の取得)			

学校運営協議会からの意見・要望・評価等